

福岡県事業引継ぎ支援センターの 奥山慎次統括責任者が語る

中小零細企業の 存続サポートで 地域活性化



おくやま・しんじ / 直方市出身、1961年6月19日生まれの55歳、近畿大学短期大学商経科卒業後、会計事務所勤務。2000年に独立して中小企業の経営支援を手がけ、15年4月から福岡県事業引継ぎセンター統括責任者に就任。趣味は吹奏楽。中小企業診断士

—まず福岡県事業引継ぎ支援センターの概要について教えてください。

奥山 中小企業の円滑な事業承継の促進を目的として、2012年2月に設置されました。親族承継、社員承継、第三者承継の3区分があり、それぞれに相談や問題課題の把握、事業承継計画書の策定支援、承継スキームの策定支援や実行支援、そして金融機関や民間のM&A支援企業の活用など、各事例に最適

な方法で事業承継をサポートしています。

—センターの特長は。

奥山 まず公的機関という点でしょう。我々の使命は中小零細企業をサポートし、地域の雇用を守ることです。戦略的M&Aと違い、地域に根ざした企業の存続を目的としており、事業承継後も社員が安心して働ける企業として引き継いでいくことを第一に考えます。

—これまでの実績は。

奥山 昨年は相談件数185件、引継ぎ完了件数16件でした。人口や市場規模の違いはありますが、全国第3位の数字です。今年も相談件数240件、引継ぎ完了件数20件を目指しています。

—近年は後継者不足が顕著になってきていますね。

奥山 その通りです。現在、100億円未満の中小企業における後継者不在の割合は67%に上ります。そして年間7万社が後継者不在のために廃業しており、この数値はこれから飛躍的に高まっていくと予測されます。

廃業によって年間30万人が雇用の場を失っており、技術やノウハウも散逸します。顧客を含む取引先にも迷惑がかかるため、最も避けなければならぬ選択です。

—事業承継というと、特にオーナー企業では親から子へと世襲していくイメージが強いですが。

奥山 そうですね。しかし実際は親族承継ができる可能性は35%と言われております。つまり、6割以上の中小企業は社員や第三者承継を選択しなければならぬということですね。だからこそ我々は全国のセンターから集められた企業のデータベースを活用し、最適な事業承継のマッチングをサポートしています。

そして1社でも多くの中小企業を次世代へつなぐことで、雇用を守り、地域の活性化に貢献していきます。事業承継にお悩みの際は、まず相談に来てもらいたいですね。



福岡県事業引継ぎ支援センター
TEL 092-441-6922 にご相談ください。

個別の事情に応じて、税務、法務等の外部専門家の助言も得られるようアレンジします。

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 福岡商工会議所ビル7階
ホームページ <http://www.f-hikitsugi.com/>

相談開設日

- 毎週月～金曜
- 9時～17時
(年末年始、祝日除く)

相談
無料

秘密
厳守

